

スタッフのつぶやき

今月のお休み



小早川幸一郎
Koichiro Kobayakawa



週末、たまたま何も予定がなかったので、急遽予約を入れて2泊3日で北茨城の自然の中の施設でリトリートを体験してきました。森の中を散歩しながら考えごとをしたり、目覚めにヨガをし、寝る前に瞑想をしたりと、ゆったり過ごすことができました。また、食事抜きのデトックスとパソコンやスマホを遮断したデジタルデトックスを行い、心身ともにリフレッシュができました。そして何と言っても、読書に耽ることができたのが最高でした。読書の時間って、至福の時ですね。

原大士
Daiji Hara



バンクシー展に行きました。1.5億円で落札された自身の絵を、シュレッダーで切り刻んだニュースでご存知の方も多と思います。今回の美術展は写真撮影OK!すべて撮れば、家でも美術展を楽しめます。しかも音声ガイドが無料アプリで配信中。アプリ内にも一部の作品を除いて画像が載っているので、もはやいかなくても楽しめる!?どこでもデジタルで楽しめる時代だからこそ、直接触れたいと思わせるプロの力はすごいなと改めて実感しました。

北本駿介
Shunsuke Kitamoto



この時期は、人事異動が多い時期ですね。前職では異動があり、当時の会社の東京支社に勤務したこともあり。普通は、遠方だと1カ月前とかに内示が出て、家を探してとかを思っていました。ただ、当時、内示が出たのは、1週間前!しかも金曜の朝に言われ、翌日に東京に来て、家をすぐ決め、月曜から引継ぎやら挨拶回りをし、土曜日に引越しをして、月曜日着任。今思えば、すごいハードなスケジュールだったと思いますが、ある意味良い思い出です(笑)

鈴木翔太
Shota Suzuki



今住んでいる場所の最寄駅を走る路線で、この度急行列車の区間が伸びました。しかし、時間にもよるのかもしれませんが利用者がほとんどいないように見えます。いつも各駅停車は割と高い乗車率なのですが、急行は見ると椅子も半分くらいしか埋まっていないんです。しかも私の最寄り急行の停車は無し。乗れる電車の本数が減っただけ...もしお近くの方がいらっしゃいましたら皆様の感想もお伺いしたいです。

有澤琴子
Kotoko Arisawa



編集部所属の私ですが、グループ会社のZERO GYMで管理栄養士として栄養指導もしています。免疫力を維持するためには、ビタミンDに特に注意。食事やサブリのほか、日光浴でも合成されます。外出が心配な時期ですが、1日数分ペランダに出て陽を浴びるだけでもOK。食べ物なら、椎茸や鮭がオススメです。さて、実は4月からZERO GYMの業務に専念することになりました。かわら版での登場は最後になりますが、またどこか皆様にお会いできる日がありますように!

先日、Amplitude (アンプリチュード)というマーケティング分析ツールについて話を聞く機会がありました。ユーザーの行動データをもとに自社のWebサイトやアプリの課題をあぶり出すことができるのですが、驚くべきはその精度とスピード感。課題をつきとめ、解決策を打つというサイクルを尋常ではないスピードで実現できます。instagramやAirbnb、さらにはAmazonまで採用するほどで、そのツールを開発した米国の企業はもまもなくユニコーン企業になるくらい評価が高いそうです。

根本輝久
Teruhisa Nemoto



YouTube、Netflix、prime video、Paravi、TVer、インスタライブ...ちょっと飽きてきたな...と思っていた矢先、Facebook広告に「NewsPicks 落合陽一×りゅうちえる これからのメディアを語ろう(動画)」。何このコラボ気になるLet's課金!しかも月額ではなく年間契約15,800円のほうで意識高めにデビュー。元を取らねば(´д`)慌ててシン・ニホンの放送見てみたり。政治経済苦手な私が政経トークし始めたら仕入れ先は100%NewsPicksだと思ってください(笑)

中平麻衣子
Maiko Nakahira



先日、携帯を買い替えました。以前は、安価で軽いものを選んでいましたが、最近はバッテリー持ちのいいものを選ぶようになりました。今回選んだものは、2~3日充電しなくてもいいものなので、災害時など安心できます。ただ、充電持ちがよすぎて充電するのを忘れて仕事に行ってしまうことも多々あり、途中でバッテリー不足になったりと逆に本末転倒だな...と思うこともあります。まずは、油断せずに毎日携帯は充電する癖をつけたいといけませんね。

岩瀬恵理子
Eriko Iwase



コロナの問題に関連して先日、某書店の方がSNSでシェアしていたニュージーランド在住の方のnoteの記事を読みました。同国政府と日本政府や東京都の危機対応を比べて「こうした大きな危機への対応は死者も必ず出るため勝利はなく、負けしかない貧乏くじなんだけれど、有事の際、『危機が収まった後に身を引く覚悟』のない政権では国民を守れない」というお話がありました。人口の差など細かい点は別にして、本質的な指摘だなと。

古川浩司
Koji Furukawa



先日、会社の先輩からミラーレスカメラを5千円で譲ってもらって得たかと思っていたのに、2週間くらいで落としてしまって電源が入らなくなり損した気分になっていました。ただ、レンズは割れていなかったで調べてみると、レンズ単体の相場が8千円くらいだったのでまだギリギリ得していました。中古でレンズ無しのカメラ本体を買って使っていますが、黒い本体に小豆色のレンズという毒々しい色合いになっています。

松川涼
Ryo Matsukawa



クロスメディアかわら版 Vol.139 2020.4

An ordinary office worker to a great business man.

1 メンタルの強化書 / 2 アメリカのビジネス書トレンド / 3 働き方改革・最高の体調で免疫UP / 4 スタッフのつぶやき...

クロスメディア・パブリッシング 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-3 東栄神宮外苑ビル Tel: 03-5413-3140 Fax: 03-5413-3141 http://www.cm-publishing.co.jp

Highlight!

「ゆるま湯」系 組織

page 3

発酵食品

『メンタルの強化書』佐藤 優

発売1ヶ月 3刷 重版決定!

続々 しかけ店舗で、ランキング入りしております!

都心・郊外店問わず、売れ行き好調、好調すぎて売り切れ店舗が続出! 3刷重版後は、お早めの在庫確保をお願い致します!

佐藤優氏が「メンタル」をテーマに書くのは本書が初!!

あなたの周りには「自分勝手に図々しい下品な人」たちが心を削られない働き方とは?

どんなに必死に頑張っても、会社に貢献しても、自分の「心」=「メンタル」が壊れてしまったら、元も子もありません。ではこれから先、私たちはどのように働き、どのようにして心を守ればいいのか。本書では、これからの時代を折れずに、負けずに、疲弊せずに生き抜くための働き方を提案しています。

こんな展開がおすすめです!

1

ブックエクスプレス大崎

2

(山下書店半蔵門)

さらに!

第1位

ランキング1位獲得しました!

(ジユンク堂書店名古屋店)

拡材もご用意しております!

何があっても折れない「しなる心」を手に入れる

いま私たちに必要なのは心折れることなくたくましく生き抜く強さ

佐藤 優



アメリカのビジネス書トレンド

BARNES & NOBLE BOOKSELLERS 3月のTOP10

順位	タイトル	邦題(翻訳書がないものは編集部訳)
1	The Fifteen Percent: Overcoming Hardships and Achieving Lasting Success	(仮題)15%:困難を克服し、永続的な成功を達成する 著: テリー・ジャイルズ
2	China Rx: Exposing the Risks of America's Dependence on China for Medicine	(仮題)中国薬の処方箋:中国製医薬品に依存するアメリカのリスクを暴露する。 著: ローズマリー・ギブソン、ジャナルダン・ブラサド・シン
3	Rich Dad Poor Dad: What the Rich Teach Their Kids About Money That the Poor and Middle Class Do Not!	(邦題)金持ち父さん 貧乏父さん: アメリカの金持ちが教えてくれるお金の哲学(筑摩書房) 著: ロバート・キヨサキ
4	The Intelligent Investor Rev Ed.	(邦題)新賢明なる投資家 割安株の見つけ方とバリュー投資を成功させる方法(バンローリング) 著: ベンジャミン・グラハム
5	The 48 Laws of Power	(邦題)権力に翻弄されないための48の法則 上・下(バンローリング) 著: ロバート・グリーン
6	How to Win Friends and Influence People (Special Anniversary Edition)	(邦題)人を動かす(創元社) 著: デール・カーネギー
7	Leadership: In Turbulent Times	(仮題)リーダーシップ:荒れ狂う時の中で 著: ドリス・カーズ・グッドウィン
8	On Her Own Ground: The Life and Times of Madam C. J. Walker	(仮題)彼女の土俵で: マダムC.J.ウォーカーの生涯と時代 著: アレリア・バンドル
9	Think and Grow Rich	(邦題)思考は現実化する(きこ書房) 著: ナポレオン・ヒル
10	Dark Towers: Deutsche Bank, Donald Trump, and an Epic Trail of Destruction	(仮題)ダーク・タワーズ: ドイツ銀行、ドナルド・トランプ、そして桁外れの破壊の痕跡 著: デイビッド・エンリッチ

このコーナーでは某商社ニューヨークオフィスに勤務するビジネス書大好き人間が、日々通う書店のビジネス書コーナーで感じたこととお話していきます。

NYでは、先月、非常事態宣言が出され、州全体で新型コロナウイルスの感染防止策に乗り出しています。そんなNYですが、日本と違い、マスクをつけた人はそれほどおらず、セントラルパークでお散歩している人なんかもたくさんいて、ニューヨーカーは、のんきだなあと思ったり。私も、自宅にこもって仕事をしながら、ビジネス書を読みふける日々を送っています。それでは、今月のランキングを見ていきましょう。

まずは、1位にランクインした『The Fifteen Percent』です。いま最も成功している起業家の1人であるテリー・ジャイルズによる啓発本で、3月10日に発売されて以来、注目が集まっています。テリーは、西海岸で著名な刑事弁護人の一人でしたが、その後、起業家に転身し、さらに成功を収めました。一般的に、現実で目標を達成できる人間は15%と言われていたようですが、彼はこの本の中で、「それを25%、50%以上にしたい」と掲げ、自身の経験やノウハウのエッセンスを一冊に凝縮しています。法律家や起業家に限らず、多くのビジ

ネスマンに読んでもらいたい一冊です。

そして、2位にランクインしたのは、『China Rx』。生命・医療倫理専門のシンクタンクで上席アドバイザーも務める著者が暴露するのは、アメリカで処方されている医薬品が中国製のものに依存しているという事実。新型コロナウイルスへの関心が高まるいま、多くの人に読まれています。薬に関わるすべての人は必読の一冊。また、同じ著者による『沈黙の壁』(日本評論社)は、日本語で翻訳されています。

最後に紹介するのは、8位の『On Her Own Ground』です。20世紀初頭に黒人向けのヘアケア製品で大成功を収めるとともに、黒人のための慈善団体とリンチ防止キャンペーンに長年貢献してきた、マダムC.J.ウォーカーことサラ・ブリードラブの伝記です。オクタヴィア・スペンサー主演でNetflixでのドラマシリーズ化も決定しています。

今月は、ベストセラーにもなっている名著も見られる一方で、世界情勢に敏感なニューヨーカーならではの本もランクインしました。それでは、次回のランキングもお楽しみに!

4月から中小企業も「働き方改革」が始まります!

これにより、企業は仕事量を減らさずに労働時間を減らす必要が出てきます。すると、社員個人の能力を高め、今いる社員の離職も防がなくてはなりません。本書では、良い人材が健全に定着する組織を科学的に創る方法を解説!

著者は
医師で
産業医で
MBA
ホルダー

まずは確認! ケースで見る、身近な「病んでいる組織」

1 『砂の城』系組織

ストレス耐性低めの社員が多い会社
スキル重視の採用などで、元からストレス耐性の低い社員が多い組織。

2 『やりがい搾取』系組織

「働きやすさ」を無視して「働きがい」を追求する会社
「働きがい」で業務負荷の高さをごまかしている組織。

3 『ぬるま湯』系組織

「働きがい」を意識せず「働きやすさ」を過度に追求する会社
「働きやすさ」の改善施策ばかり実行する組織。



それぞれの背景と対策を詳しく解説!

さて、どうする?
「辞める人・ぶら下がる人・潰れる人」

10万部突破! ウィルスに打ち勝つ! 『最高の体調』を

皆さんに本書をお役立ていただきたく、免疫システムを正常に動かす具体的な方法をご紹介します。是非、実践してみてください!

腸内細菌が重要
これがなければ、私たちの免疫システムは攻撃も防御もできない

発酵食品をとる
(納豆、キムチ、ヨーグルトなど)

食物繊維の摂取量を増やす
(ゴボウ、海藻類、キノコ類、ブルーベリーなど)

その他にも体調管理に役立つ項目が満載です。再注目してみてください!